

CSR活動報告2019

Corporate Social Responsibility
Report 2019

創造と革新 Creation & Innovation

トップメッセージ

技術革新を支える担い手として、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社は、「創造と革新」を経営理念として掲げ、企業価値の向上を図るとともにコーポレート・ガバナンスを基盤としコンプライアンスを遵守することで、社会や環境と共生・共存できる企業として、健全かつ持続的な成長を遂げていくことを通して社会的責任を果たしてまいります。

創立以来培ってきた独自の技術力と高度な開発力、幅広い情報力、豊富な人材力で多様化・複雑化する社会のニーズや課題をいち早く把握し、人々に必要とされる製品・サービス等をワンストップでソリューション提供することを通じ社会への貢献に努めてまいります。

また当社では、さらなるCSR活動の充実を図るべく昨年度「CSR基本方針」及び「CSR活動指針」を定め、株主・取引先・地域社会・従業員など多様なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指すことを宣言いたしました。

これからも当社は、社是である「創造と革新」が生み出す高い付加価値を徹底的に追求し、顧客第一主義を実践する企業として、グローバルな成長を目指してまいります。

取締役社長 石井 仁



Global Semiconductor & Sensor Lead
半導体・センサーで業界をリードしグローバルに成長していく

(2019年7月1日、株式会社ルネサスイーストンから株式会社グローセルに商号を変更いたしました。)

CSR活動方針

当社グループは、これまでのCSR活動をもとにさらなる社会の持続的発展と企業価値の向上を目指し、従業員一人一人が一丸となってCSR活動に取り組むことを目的にCSR活動に関する「CSR基本方針」及び「CSR活動指針」を策定いたしました。当社グループは、これからも企業理念である「創造と革新」のもと、時代の求める先進的な価値を提供し、社会から必要とされ、信頼される企業を目指して参ります。

CSR基本方針

当社グループは、「創造と革新」を経営理念として掲げ、企業価値の向上を図るとともにコーポレート・ガバナンスを基盤とし、コンプライアンスに配慮することで、社会や環境と共生・共存できる企業として、健全かつ持続的な成長を遂げていくことを通して社会的責任(CSR)を果たして参ります。当社グループは、CSR活動を通して従業員一人一人が自発的に活動し、チャレンジ精神旺盛な企業風土の醸成を推進して参ります。

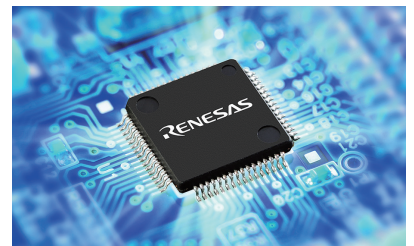
顧客満足

最先端の製品を提供することでお客様の「モノづくり」を支えております。

ルネサスエレクトロニクス社との強固な絆が高い付加価値を創造します。

当社は、車載用マイコンで世界トップクラスのシェアを持つルネサスエレクトロニクス社の特約店として、常にマイコンなど最先端の製品、技術情報をお客様と共有しながら、変化に対応することで主力事業である自動車分野、産業分野のさらなる拡大を目指しています。

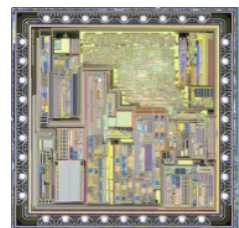
更に医療、社会インフラ、通信、エネルギー、住宅などといった、これから成長が期待される分野への進出に積極的に取り組み、これまで培ってきた経験と技術を活かし、新たな事業分野の創出を図っていきます。また、これからの超スマート社会の構築においても、常に時代の最先端を行く製品と情報をお客様に提供し、お客様に寄り添い理想を形にすることで提供価値を拡充し、ルネサスエレクトロニクス社とともに「お客様に選ばれるソリューションプロバイダー」を目指して参ります。



自社ブランド製品高感度ひずみセンサー「**STREAL**/ストリアル®」あらゆる産業分野への活用を通して、超スマート社会の実現に貢献していきます。

当社は、2018年4月に自社ブランド製品高感度ひずみセンサー「**STREAL**/ストリアル®」の製造・販売を開始いたしました。**STREAL**は、超小型、高精度、常時計測の三つの特徴を備えた半導体ひずみセンサーです。長さ1kmの物体のわずか1mmの伸び縮みを測定できるほどの性能を誇り、人の感覚では認知できない精度での計測が可能で、わずか2.5mm角のICチップに機能を集約することで、小型かつ低消費電力化を実現いたしました。今後、メンブレンでの圧力制御、ロボット、モーターなどのトルク制御、架線やワイヤーの張力計測、プラントモニタリングなど様々な分野への応用が見込まれています。他社にはない当社だけのオンリーワン技術であることを強みとして、産業分野の様々な用途で高い付加価値を発揮し、安心・安全・快適なスマート社会の発展に貢献して参ります。

STREAL



CSR活動指針



従業員の尊重

全ての従業員の人権を尊重するとともに、自発的な活動を促し、働きがいのある職場作りに努めます。



情報開示

企業情報を適切に管理するとともに、公正かつ適時に開示を行い、企業活動の透明性を高めて参ります。



環境への取り組み

全ての企業活動を通して、人々の健康と自然の営みを大切に、地球環境の向上に積極的に取り組み、持続可能な社会の継続的発展に貢献します。



顧客満足

技術商社としての事業活動を通して、お客様に高品質なサービスを提供し、お客様満足度の向上と企業としての信頼性を高めて参ります。



社会貢献活動の推進

企業活動を通して、より良い社会の実現に向けて積極的に取り組みとともに、近隣地域とも密接に連携し社会への貢献に努めます。



コーポレート・ガバナンス/
コンプライアンス

従業員の尊重

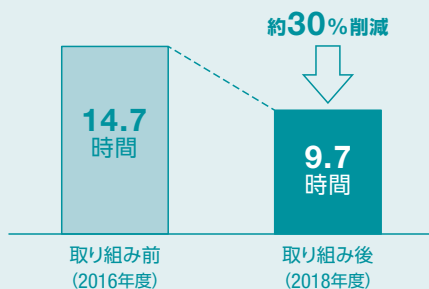
「働き方改革」への取り組み

2019年4月より「働き方改革関連法」が順次施行され、多くの企業がその実現に向けた活動を行っています。これに先駆け、当社では2017年にスマートワーク・ライフを宣言し、様々な取り組みを進めています。この宣言では、社員一人一人の豊かな私生活創出を目指して、自分たちで「時間を創る」ことにより、仕事と私生活の価値を磨いていくことで、働きがいのあるワークスタイルを確実なものにしています。

メリハリのある働き方を支援

当社では、社員のプライベートの充実に向けた時間管理を積極的に推進し、残業削減に向けた取り組みを行っております。従業員各自がこれまでの働き方を見直し業務の効率化を図ることで、一人平均残業時間は9.7h/月(2018年度)と、制度が始まる前14.7h/月(2016年度)と比べて5.0h/月の削減を達成しています。メリハリのある効率的な働き方を誰もが意識し、実践する企業風土が定着しています。

社員の月あたり平均残業時間

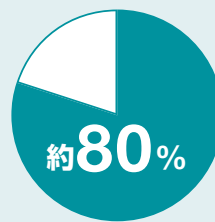


充実した私生活を支援

当社では週に2回、毎週水曜日と金曜日に「定時退社日」の実施に加え、金曜日は定時より30分繰り上げて退社できる「定時前退社」の取り組みを導入することでより充実した「アフター5」を過ごすことができます。また、3ヶ月に1回は金曜日または月曜日に有休を取得することを奨励しており、計画的に3連休を増やすことにより社員の効果的なりフレッシュを図っております。

※有給休暇付与日数：年間24日(新卒入社初年度：22日)

有給休暇の年間平均取得率



金曜日に定時前退社する社員の割合

25%

有給による3連休の取得回数

2.3回

(2018年度)

仕事と育児・介護の両立支援

育児や介護をしながら働く社員にも、安心して働ける制度を用意しています。



育児休業制度

当社では、復職後の育児のための短時間勤務は子供が小学校に入学するまで継続でき、多くの社員が仕事と育児の両立を実現しています。「育児休業制度」を利用する女性社員は、全体の約2割に達しております。男性社員も育児休業制度を利用して、仕事と育児の両立を積極的に支援しています。



介護休業制度

当社では、介護休業、介護を理由とした短時間勤務制度のほか、家族の介護休暇、子供の看護休暇や配偶者の出産休暇も有給として応援しています。

社会貢献活動の推進

地元 千代田区サッカー協会への支援

千代田区サッカー協会は、千代田区におけるサッカー競技の普及と発展を図り、併せて子供から高齢者まで男女ともにスポーツを楽しむことができる、健康で明るい地域社会に貢献することを目的として設立されました。この趣旨に当社も賛同しジュニア層を中心に支援を開始いたしました。主な活動として、ジュニアを中心とした選手たちへの支援と、大会などの企画・運営、親子サッカー教室・ブライントサッカー教室などを開催しております。

2019年10月27日(日)には同協会と共催し、8歳以下の低学年育成大会として千代田区立昌平小学校の屋上にあるスポーツ施設にて「グローセルカップ」を開催いたしました。当日は千代田区内外の8歳以下のジュニア選手8チーム約100名に加え、保護者を含めて200人以上集って頂き大盛況のうちに大会を終えることができました。引き続き同協会を通じ本社の所在地であります千代田区の発展に貢献してまいります。



千代田区サッカー協会



環境への取り組み

社員による森林整備植樹活動

2015年度より、社員集合研修カリキュラムの一環として、ホールアース自然学校様にご協力頂き、自然環境保護活動として、竹林の整備を行っております。昨今、荒廃化した竹林のヤブ化が深刻であり、日照不足による枯死などが問題視されており、また山村の過疎化や高齢化に伴い、竹林の整備が行き届かないことも問題となっており、こういった活動が肝要となっております。このような自然環境保護活動を通して自然の大切さを理解し社員一人一人が環境への意識を高め、良質な竹林としての環境を形成することにより、より豊かな自然環境を再生・維持することを目指して、今後もホールアース自然学校様ご協力のもと森林整備活動を行ってまいります。



情報開示

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス報告書 ▶ <https://www.glozel.co.jp/company/governance.html>

● コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループは、経営の透明性の向上を図りコンプライアンス経営の強化に向けてコーポレート・ガバナンスの充実を最重要視し、また、経営環境の変化にスピーディに対応できる組織体制とその必要な施策を講じるとともに、企業価値の向上と発展を目指して取り組んで参ります。

当社グループにおける企業統治の体制

- ①取締役会、監査役会、経営会議を定期的に運営することによりコーポレート・ガバナンスの充実・強化を図っております。取締役につきましては、任期を1年とし経営に対する責任を明確にするため、毎年株主総会で株主の皆様にご判断を頂いております。
- ②監査役会設置会社であり、監査役を4名置きその内の3名を社外監査役としております。また、常勤監査役を2名(内1名は社外監査役)選任し、社内の各種重要会議に積極的に参加し、監査体制の強化を図っております。(社外監査役及びその近親者との間には特別な利害関係はありません。)
- ③監査部門として監査部を設置し、法令及び諸規程に基づき監査を実施するとともに、改善・指摘事項については取締役会へ上申し、内部統制等が効果的に運用されるべく充実を図っております。
- ④顧問弁護士とは、契約に基づき必要に応じて法律全般について助言と指導を受けております。また、会計監査はEY新日本有限責任監査法人に委嘱し、定期的な監査のほか、会計上の課題等については随時確認を行い会計処理の適正化に努めております。

● 取締役会

取締役会は、毎月1回以上開催する定時取締役会だけではなく、緊急を要する事項があれば機動的に臨時取締役会を開催しております。そして経営会議で示された会社の方向付けを更に深く掘り下げて審議し、経営全般の意思決定機構としての機能を有します。また、取締役の職務執行を監督する機関として位置付け、各部門、関係会社の状況報告をはじめとして損益、営業、開発等の速やかな状況把握のもと対応等の検討を行い経営判断に反映させております。

● 監査役会

監査役は、毎月1回監査役会を開催するだけではなく、緊急を要する事項があれば機動的に臨時監査役会を開催しております。そして監査の方針、業務の分担等に従い、取締役会その他重要な会議へ出席して意見を述べるほか、取締役等からの報告事項を通じて必要事項を詳細に調査監視します。そして、必要に応じ内部監査もしくは会計監査人の監査への立会い等を行うことにより、取締役の職務執行の適法性・妥当性等を幅広く検証しております。また、改善・指摘事項については取締役会へ報告し、内部統制等が効果的に運用されるべく充実を図っております。

● 経営会議

経営会議は、毎月1回以上開催し、経営の基本方針ならびに法令・定款で定められた事項ならびに経営に関する重要事項について検討し、会社の方向付けを示します。